

受領No.1564

米中技術貿易に対する西側諸国の競争と協力の影響： コンピューター技術を中心に (1969 – 2001 年)

代表研究者 龔 氷怡 大阪大学大学院 国際公共政策研究科
博士課程学生



The Influence of Western Competition and Cooperation on U.S.-China Technology Trade: from the Perspective of Computer Technology (1969-2001)

Representative Bingyi Gong, Osaka School of International Public Policy,
Osaka University, Doctoral Student

研究概要

本研究は、冷戦期の中国に対する資本主義国家の技術貿易を通じて、一般的に非政治的であるとされる科学技術の政治性に着目し、その国際関係への影響を分析し、科学技術の流通と世界秩序の変動との関連性を検討するものである。とりわけ 1969 年から 2001 年にかけて、米国と日本やフランスなどの同盟国が中国市場において競争しながら対中輸出規制の緩和について協力していたという複雑な関係が米中技術貿易に対してどのような影響を与えたか、という問題を明らかにする。本研究は英語、日本語、中国語の史料を利用して、対共産圏貿易統制について常に議論された先端技術であり、工業の生産力も軍事力も向上させるコンピューター技術に関する米国の対中輸出の実態を考察する。科学技術と冷戦の関係についての従来の研究では、米中間の技術移転における西側諸国の長期的な影響が十分に研究されてこなかった。本研究はそれを明らかにすることで、冷戦期の米中技術貿易の複雑性に対する理解を深め、冷戦史と米中関係史の研究に貢献したい。更に、科学技術の流通と国家間の政治関係の変化、ひいては国際秩序の変動との相互作用に対する新たな知見を提供することで、特定の時代や地域を超える普遍的法則性を見出すことを目指している。